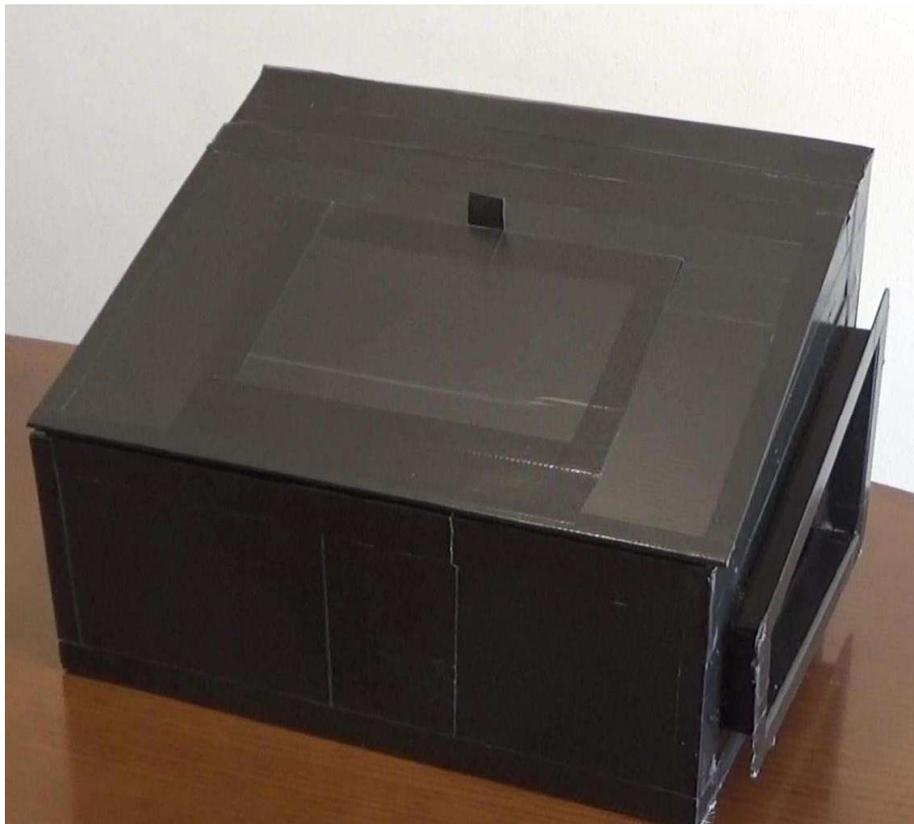


# Online Workshop

## Desktop D-Box の作製



自宅に暗室がなくても、机の上で現像が出来れば、やってみたいと思う方は結構いるのではないのでしょうか。以前紹介した「D-Box」はイベントにおいてみていただくことを目的としていたのでそれなりの大きさがありましたが、今回の「Desktop D-Box」はキャビネ判で2浴現像(現像・定着)としていますのでかなり小さくすることができました。これは現像を見せるためのものではなく自分が現像するための道具として使うものなので、中は手前(自分の方)からしか見ることができません。設計図は一応作りましたが、プラダンと布テープを多用しているので、現物合わせで作製していきます。

## Desktop D-Box

大きさ:幅 40cm × 高さ 30cm × 奥行 30cm

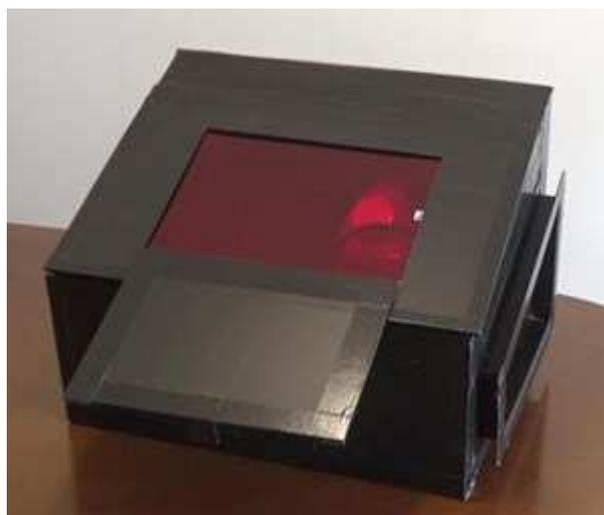
重さ: 1.5kg

現像:キャビネ判(2浴:現像・定着)

安全光:USB ライト



正面:使用時は右側にダークバッグを付ける



現像時:赤窓を開ける



内部:現像時の配置



収納:すべての機材を内部に収納可能

## 作製の手順

### 1. 容器選び

現像に使う容器は、100円ショップで売っているタッパーウェアから選んでください。材料表にも書きましたが、170×250mm以下の大きさの容器を探してください。深さは60～80mm程度が良いと思います。もちろんキャビネ判(120×165mm)が入らなければいけませんし、ある程度、余裕が欲しいので、150×200mm以上のものを選んでください。

### 2. MDFで箱を作製

設計図の茶色の材料で箱を作ります。MDFでなくてもベニヤ等でも構いませんがMDFの方が作業しやすいと思います。設計図では5mm厚のMDFを使っています。ボンドでしっかり貼り合わせてください。これを基準にプラダンを貼っていきます。

### 3. 内側から作製

- a. MDFで作った箱に①を入れます。サイズがきつようであれば切って調節してください。サイズが良ければ、プラダン①の裏に両面テープを端と中央の3カ所位に貼り、箱に固定します。
- b. プラダン②③④⑤をMDFの箱の内側に立ててみてください。サイズがちょうどよければ、②～⑤を布テープで貼りあわせて箱の内側に設置してください。
- c. プラダン①とプラダン②～⑤をホットボンドで固定します。現像液等がこぼれても外に染み出さないようにしっかり隙間をふさいでください。
- d. プラダン②③④⑤の上部の断面を覆うように(外側から内側に)布テープを貼ります。

### 4. 外側を作製

- a. プラダン⑥⑦⑧を貼る前に、50mm位の幅のプラダンをプラダン④⑤⑥の外側、上から30mmくらいのところに貼ります。これは内側のプラダンと外側のプラダンの隙間を保つために入れます。
- b. プラダン④⑤⑥の上になる部分の断面を覆うように(外側から内側に)布テープを貼ります。外側のプラダン④⑤⑥は、下部はMDFにボンドで貼り、上部は直前に貼った50mm幅のプラダンに両面テープで貼りつけます。

### 5. 上面の作製

- a. プラダン⑨は上部背面側に布テープで貼り付けます。
- b. ⑩は中央に230×160mmの穴を空けます。そこに裏から赤い下敷きを2枚重ねにして、布テープで貼ります。穴を空けたときに切り取ったプラダン⑪は下敷きの保護・汚れ防止に使います。
- c. 本体上部内側と外側の隙間に合うように(図面の寸法は目安ですので現物に合わせて)L

アングルをカットします。上蓋を閉めたときにうまくLアングルが隙間に入るように、プラダン⑩に両面テープで貼りつけます。その上から、布テープで補強します。プラダン⑩をプラダン⑨に布テープで貼ります。初めは外側から貼り、上蓋を開いて内側にも布テープを貼り、補強します。

## 6. 右側の手を入れる部分の作製

片手で現像をしますので、右利きの方は右側、左利きの方は左側に穴を空けます。プラダン⑧の手前と奥に 40mm 程度空けたところに、カッターで縦に切れ目を入れます。下は MDF のところまで切り込みます。下の部分を MDF に沿って手前から奥まで切れ目を入れます。上は、内側と外側の間隔を保つために貼ったプラダンまで切り込みを入れ切り抜きます。

## 7. ダークバック装着部の作製

- a. 上記切り抜いた穴の周囲にLアングル(図面の寸法は目安ですので、その都度測りながらカットする)をボンドで貼り付けます。そのLアングルにさらにLアングルをボンドで貼り、布テープで補強します。
- b. ダークバックを止めるゴムロープの長さを調節する。

## 8. 背面の仕上げ

背面にプラダン⑫を布テープで貼る。

## 9. 安全光の作製

購入してきた USB ランプの先端(白い部分)はめ込んであるだけなのですぐに外れます。中には LED ランプが円形に並んでいます。下敷きを直径 50mm にはさみでカットしたものを 3 枚重ねてセロハンテープで止め、ランプの LED のついている基板の中央に両面テープで貼り付けます。キャップをもとに戻します。

## 10. 安全光の設置

背面のプラダンに直径 30mm の穴を空けて、USB ランプを設置する。購入したものにもよりますが、購入してきたものは、ランプをぶら下げる金具を広げると取れます。背面の穴にランプのコードを通して、ランプの後ろの部分を外側に出し、吊り下げ金具をもとの状態に戻し、布テープで貼り付けました。

## 11. 全体の仕上げ

ボックスの角や縁に布テープを貼り、補強する。プラダン⑪を上蓋(下敷きを貼ったところ)に布テープで下の部分だけ貼り付ける。開け易いようにプラダン⑪の上側に布テープを貼り取手にする。

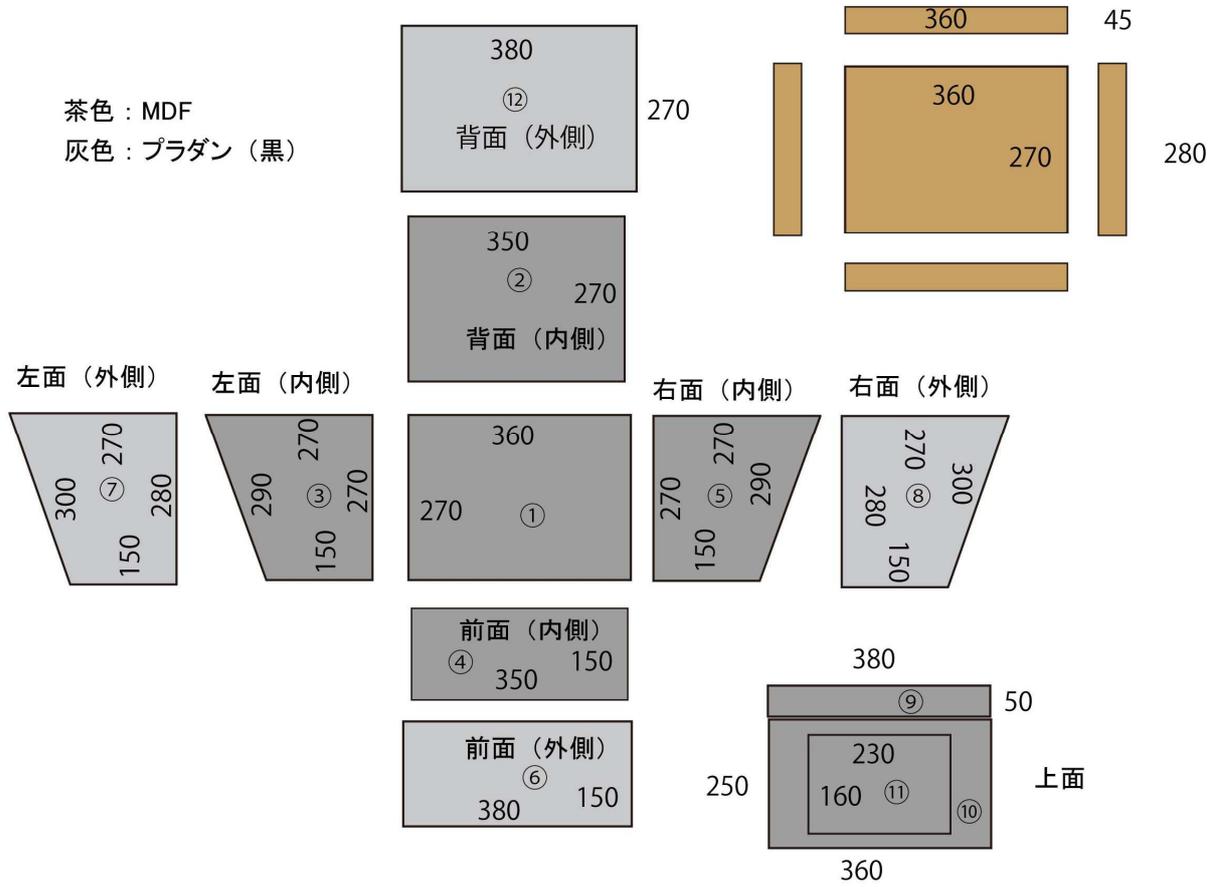
## Desktop D-Box 材料表

材質		形状	寸法 [mm]		数量	備 考
木材	MDF	5mm厚	270 × 360		2	
			45 × 360		2	
			45 × 280		2	
塩ビ	L字アングル	20×20mm	900mm		3	
プラダン	黒色	5mm厚	900 × 1800		1	ホームセンターで 600mm幅にカット
下敷き	赤色	B5			3	100 円ショップ
ゴムロープ					1	100 円ショップ:自転車のゴムロープ
USB ランプ			100 × 600		1	100 円ショップ
布テープ		黒			1	100 円ショップのならば 2 本
接着剤		GP クリヤ			1	100 円ショップのものならば 3 本
両面テープ		20mm 幅			1	100 円ショップのものならば 2 本

ダークバッグ					1	
タッパーウェア	深さ 80mm	170	× 250		2	100 円ショップ:これより小さいもので、キャビネ判が入るもの
保存ボトル	1L用				2	100 円ショップ(現像液・定着液保存用)
計量カップ	1L用				1	100 円ショップ
竹ピンセット					2	
現像液						スーパープロドール1L用
定着液						フーパー富士フィックス 4L 用
印画紙	2号	120	× 165mm			入手が難しい

# Desktop D-Box

茶色：MDF  
灰色：プラダン（黒）



L アンゲル (20×20) : 210mm + 360mm + 210mm = 780mm (上面)

L アンゲル (20×20) : 280mm + 270mm + 170mm + 290 = 101mm × 2 (右面)

